

退互 会員通信

令和 7 年 度 第 3 号
(発行) 一般財団法人
川崎市立学校教職員互助会
会 長 鈴木 信一郎
令和 8 年 1 月 14 日(水)

目 次

- ★会員通信第3号の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- I. 令和8年度 退職互助事業のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- II. 家族芸術鑑賞会(落語会)の報告・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- III. 第2回 歴史(文学)散歩「芥川龍之介を慕った芸術家たち」 報告・・・・・・・・ P 4
- IV. 第3回 歴史(文学)散歩「ぶらぶら歴史探訪 池上編」 報告・・・・・・・・ P 5
- 地区会(退職互助事業及び運営に関する懇談会)
- V. 川崎地区「二ヶ領せせらぎ館と二ヶ領用水&川崎市緑化センター」報告・・・・ P 6
- VI. 県内・県外地区「神奈川宿 歴史の道」を巡る 報告・・・・ P 7
- VII. 「退職互助会員作品展」報告・・・・・・・・・ P 8・9
- VIII. 令和8年度 退職互助事業 年間計画(案)・・・・・・・・ P 10
- IX. 「会員通信」は郵送でもお届けできます！・・・・・・ P 11

お 知 ら せ



令和8(2026)年度

「家芸術鑑賞会(落語会)」

日本テレビ「笑点」でおなじみ

林家 たい平 さんに！

開催日時 2026年8月20日(木) 18時30分

会 場 エポックなかはら

※詳しくは、会員通信にてお知らせします。

4月15日(水)発行会員通信 第1号の予定

- 会長挨拶
- 退職互助事業及び運営に関する懇談会
報告と委員紹介
- 退職互助事業のご案内
- 第1回歴史(文学)散歩ご案内
- 令和8年度 家族観劇会ご案内
- 令和8年度 家族芸術鑑賞会(落語)のご案内
- その他

退職互助事業室

☎ 044-733-3337

FAX 044-733-9779

〒211-0051

川崎市中原区宮内4-1-2

【mail】 kawataigo@pony.ocn.ne.jp

【HP】川崎市立学校教職員互助会

※ 転居・町名変更等で住所が変わったときは、事務局に連絡をお願いします。

令和 8 年度 退職互助事業のご案内

I.

* 令和8年1月現在予定している内容です。今後、変更することもあります。
詳しくは、4月発行の「会員通信」でご確認ください。

【 会 員 通 信 】

- 「会員通信」を年3回作成します。
ホームページなどをご覧ください。郵送希望の方は、退職互助事業室まで
4 月、7 月、1 月の発行予定です。

【 各 種 給 付 事 業 】

- 供物料 (5,000 円) 会員が死亡したとき
- 退会一時金 (50,000 円)
65 歳以下で会員が死亡したとき
- 連絡は、退職互助事業室へお願いします。

【退職互助会員作品展】

- 自作の作品を会館とどろき1階のギャラリーに展示してみませんか。
写真、俳句、絵画、生け花、工芸・編物などの各部で展示します。
*会員通信でご案内します。
- 開催予定
第Ⅰ期 10月16日(金)～10月21日(水)
写真・俳句
第Ⅱ期 10月23日(金)～10月28日(水)
絵画・生花
第Ⅲ期 10月30日(金)～11月04日(水)
工芸・編物

【 歴 史 (文 学) 散 歩 】

- 知っているようで、知らない街を！
講師の案内のもと、半日のんびりまち歩き
はいかがでしょうか。
- 年3回計画、新たな発見と旧友との出会い
があります。楽しく健康的な散歩です。
- < 予 定 >
5月「(仮)江戸城を歩く」
講師 對馬 醇一先生
10月「(仮)大名庭園・徳川の女たちの寺と」
講師 東原 信行先生
11月「(仮)武州金沢歴史の道を歩き、街の歴史と金沢北条
氏の信仰と文化の薫りに触れる」
講師 横山 吉雄先生

～自分の健康管理のために～

【 総 合 健 康 診 断 ・



インフルエンザ予防接種補助】

- 毎年1回、健康チェックをしましょう。
団体料金で、お得な総合健康診断が受けられます
<神奈川県予防医学協会>
- 65 歳以下の会員に、インフルエンザ予防接種補助を行います。<上限2,500円>
- *会員通信でご案内します。

【 家 族 観 劇 会 】

- 「家族観劇会」にご参加してください。
- 70 歳までの会員の皆さまには、2席無料
でご招待します。
- 71 歳以上の会員は、会員ひとり2席まで
購入できます。負担額については、劇場
側と相談のうえ、会員通信にてお知らせ
します。
- 現在、各劇場と演目やチケット代金の交
渉中です。詳しくは、会員通信にてお知
らせします。

【家族芸術鑑賞会】

- 現職と共同企画です。
令和7年度は、8月21日(木)「立川晴の輔」
落語会を開催しました。
- 令和8年度は、8月20日(木)「エポック
なかはら」にて、林家たい平さん他の出
演予定です。
- 会員ひとり、2席ご招待します。
(希望多数の場合は抽選もあります)
- *詳細は、会員通信でご案内します。

【 地 区 会 】

- 川崎南部・川崎北部地区、県内・県外地区が
2地区に分かれ名所・旧跡等を訪ね、親睦を
深める会を開催しています。
- 8年度の開催については、検討中です。
3月の退職互助事業及び運営に関する懇談
会で決定します。

2025(令和7)年度

II.

『家族芸術鑑賞会』 盛会に開催されました



今年度の「家族芸術鑑賞会」は、
8月21日(木)、エポックなかはらを会場に
開催されました。

出演は「笑点」メンバーの立川晴の輔さん
と、お弟子さんの立川志の麿さん、そして、
神奈川県立百合丘高等学校出身の三増れ紋さ
んの3名の皆さんにご出演いただきました。

当日会場には、現職の教職員・家族、退職
互助会員など、500名を超える皆様にお集ま
りいただきました。

冒頭、晴の輔さんから「笑点」メンバ
ーになる当時の話には、会場がどよめく
ほど驚きました。2023年8月頃テレビ局
から話があり、翌24年4月出演が始ま
る寸前まで、志の輔師匠や家族にも話す
ことができなかったそうです。

お話は古典落語「死神」、1本のロー
ソクにひとりの人生が決められていて、
人が死ぬ前必ず死神が枕元にやって来
る。



死神の目を盗み病人の
床をくるとまわし、
助けると言う話です。最
後には、主人公自らの命が、
死神によって奪われてしまう

と言うお話でした。「死」と言う誰にでも起こる出来事を、ユー
モラスにお話いただきました。

二つ目の立川志の麿さんは『真田小僧』、江戸曲独楽の三増れ
紋さんは、独楽を使った芸をご披露いただきました。

れ紋さんは、川崎市歌や川崎音頭を歌い郷土色も出してくださ
り、楽しいひとときを演出していただきました。



来年度は、8月20日(木)「エポックなかはら」を会場に、林 家 たい平 さん他
の出演で開催する予定です。

来年度も楽しみにお待ちしております。

(事務局)

2025 年度 第 2 回 歴史(文学)散歩 活動報告

2025.10.17.(金)開催

Ⅲ

「芥川 龍之介を慕った芸術家たち」

～ 田端文士村 形成秘話 ～ 講師：東原信行先生

《見学コース》

J R山手線

「田端駅北改札前」集合

○ 田端文士村記念館

(見学・講話)

【芥川龍之介記念館建設予定地】

【与楽坂】

○ 東覚寺

【赤紙仁王尊】

【ポプラ坂】

【八幡坂】

○ 大龍寺

(正岡子規墓所)

【江戸坂】

○ 田端文士村記念館

田端駅に集合し、田端文士村の歴史(文学)散歩がスタートしました。講師の東原先生より文士村の概要についてお話がありました。その後、文士村記念館を訪れ最初にビデオで文士村の由来等について学び、職員の方からは、展示内容の丁寧な説明がありました。参加者の皆さんは、改めて知ること多かったので



ではないでしょうか。田端は、江戸時代、江戸近郊の農村でしたが、上野に東京

芸術学校(現在の東京芸術大学)が開校するとそこに通う学生が田端の地で暮らすようになりました。画家の小杉三醒、陶芸家の板谷波山が田端で暮らすようになったのが文士村の火付け役になったそうです。その後、大正3年、芥川龍之介が田端に引っ越してきました。当時の芥川は東京帝国大学の学生でまだ作家として無名でしたが、大正4年には代表作となる「羅生門」、翌年「鼻」を発表し、その「鼻」が夏目漱石に称賛され文壇での地位が確固たるものになりました。その後、文士村の一翼を担った室生犀星が住み、菊池寛、堀辰雄、萩原朔太郎など多くの文人が田端に住むようになりました。そして芥川を中心に「道閑会」という作家、芸術家たちの親睦の会が始まりました。しかし、大正14年に芥川が自死したことによって文士村は衰退し、戦争とともに終わりを告げました。参加者の皆さんは田端文士村の歴史を知るとともに芥川龍之介を中心とした芸術家たちの「縁」について感じ入っていました



文士村記念館前にて



東覚寺前にて

記念館を後にして、与楽坂を通り東覚寺へ向かいました。東覚寺は真言宗豊山派の寺院で赤紙仁王像が有名です。赤紙仁王とは山門にある金剛力士像の体中に赤紙が貼られたもので、病を患った人がその部分に相応する箇所赤紙を貼ると治癒されると言われているそうです。現在も赤紙を貼る人が絶えず、金剛力士像の姿が分からないほど赤紙で覆われていました。参加者の中には、「赤紙を貼れば、若返るかな」と呟いて人もいたようです。最後の見学場所は、俳人正岡子規をはじめ著名人の墓がある大龍寺を訪ねました。正岡子規は、「静かな寺に葬って欲しい」と言い大龍寺に葬られました。これにちなみ大龍寺は、「子規寺」とも呼ばれています。文士村には、田端文士村、馬込文士村、阿佐ヶ谷文士村と三ヶ所あります。今回の歴史(文学)散歩、田端文士村は、坂が多く体にも心にも心地よいものになったのではないのでしょうか。(事務局)



大龍寺正門

2025年度 第3回 歴史(文学)散歩 活動報告 2025.11.11.(火)開催 IV.

「ぶらぶら歴史探訪 池上編」

～ 見て 聞いて 歩いて探そう 歴史のひとこま ～

講師：横山 吉雄 先生

《見学コース》

東急池上線

「池上」駅 集合

○ 池上の歴史について

東急池上線
六郷用水
平間街道

○ 池上本門寺

永壽院
紀伊徳川家墓所
多宝塔
大坊本行寺

○ 大坊本行寺 解散



池上本門寺総門前にて

用水であること。また、東海道が整備される前の古道・平間街道は、川崎市平間から多摩川を渡り品川へ至る道で、農民たちには、野菜の出荷や肥料の搬入などに利用された大切な道であり、忠臣蔵で吉良家への討ち入りの際には、下平間の軽部家に隠遁していた赤穂浪士が「平間の渡し」で多摩川を渡し、江戸へ向かった道とも推定されていることを知りました。

池上本門寺総門を抜けると、第1の難関、熱心な日蓮宗信徒であった加藤清正によって寄進造営された石段に挑戦(法華経経文96文字にちなみ、96段あります)。石段とエレベーターに分かれて、永壽院を目指しました。

永壽院では吉田尚英住職から、お寺内にある弥生時代の住居跡や6世紀ころの古墳(堤方権現台古墳)、芳心院墓所(逆修供養塔・俗称「万両塚」)などの説明を受け、本堂内で芳心院(お万の方)の本物の骨壺や弥生式土器などを手に触れ見学、二代将軍秀忠の乳母(岡部局)の発願により建立された、現存する関東最古の五重塔の造りについて説明を受けました。



その後、勝海舟と西郷隆盛が江戸明け渡しの会見した場所とされる「松濤園」や、日蓮大聖人がご入滅後ご遺体を茶毘(火葬)に付した場所に建てられた「多宝塔」、圧倒されるような迫力に一同驚かされました。

大聖人がご入滅の折、庭先の桜が時ならぬ花を咲かせたと

伝えられる「御会式桜」見学した日も、小さな桜がいくつも咲かせていました。

講師の横山先生、参加の皆様、ご苦勞様でした。

(事務局)

深まりゆく秋の日。

38名の参加者で、池上本門寺の探索をスタートさせました。

横山先生から、池上の歴史についてお話があり、東急池上線と京急大師線は、参詣のために作られた鉄道であることを知りました。

川崎の二ヶ領用水と六郷用水は、用水奉行小泉次太夫が江戸の発展のために、農民と協力して作った双子



池上 大坊本行寺 お会式屋前にて

川崎南部・北部合同地区会

V.

「二ヶ領せせらぎ館と二ヶ領用水&川崎市緑化センター」

案内人：掛井 孝明 さん

報告者：石 堂 真理子 さん

令和 7 年 10 月 2 日(木)開催



宿河原堰の前にて

今年度の地区会は、川崎南部・北部合同で開催しました。ようやく見えた秋空の中、18名の仲間と元気にスタートしました。

今回の案内人は、掛井孝明さん。現在大山街道ふるさと館にも勤め、これまで「二子・高津 大山街道」、「よこやまの道」、「橘樹郡衙と古東海道」を案内いただき、今回は「二ヶ領用水」をご案内いただきました。

二ヶ領用水は、江戸のまちをつくるには、多くの水と食料が必要なことから徳川家康の命を受けた小泉次太夫が、地域の農民とともに、約14

年の歳月をかけて完成させました。同時期に東京側で「六郷用水」を造っていたこともよく知られています。

「せせらぎ館」では、館長の戸高さんからお話をうかがいました。

掛井さんから、江戸時代、多摩川で採れるアユが最高級品として将軍に「献上アユ」としてされていたため、庶民が食することはなかったこと。「登戸」の地名は、多摩丘陵の「のぼり口」を由来とし、南武線の前身、南部鉄道が1927年3月「登戸駅」として開業したことや、同4月に小田急線が「稲田多摩川駅」として開業、1958年国鉄と同じ「登戸駅」と表記されることになったなど教えていただきました。

JR南武線が江戸時代に開削された二ヶ領用水をまたぐ橋、船島川橋梁(船島鉄橋)は、桁下1.2mしかありません。首都圏でも最も桁下の低い橋をくぐりました。

南部鉄道宿河原砂利採取線が宿河原駅から現在の稲田中学校南西部を通り、多摩川から砂利を運ぶため引かれていたことも、紹介していただきました。

川崎市緑化センターでは、川崎市の工業都市イメージを変え

ようと、緑・花を育て、市民に贈るためつくられたそうです。



川崎市緑化センターにて



船島川橋梁から

この日は、前日の雨で心配していましたが、気持ちの良い秋空となり、ゆったりと豊かな時間を過ごしました。

案内をしていただいた掛井さん、ありがとうございました。

「神奈川宿 歴史の道」を辿る

案内人：椿 道雄さん
 報告者：石田 彰一さん
 令和 7 年 10 月 24 日(木)開催

東海道五十三次の3番目の宿場町が神奈川宿です。この宿が一躍有名になったのは、幕末「日米修好通商条約」締結の場となったからです。この時、神奈川が開港場に決められ多くの寺が、諸外国の領事館などに当てられました。今回その道を散策しました。この日、JR 京浜東北線東神奈川駅に、16名の参加者が集まりました。

成仏寺	米宣教師の宿舎・なみだ石
慶雲寺	フランス領事館・浦島寺
浄瀧寺	イギリス領事館
宗興寺	米宣教師ヘボン博士の診療所
甚行寺	フランス公使館
本覚寺	アメリカ領事館



成仏寺にて

最初に訪れたのは「金蔵院と熊野神社」です。江戸時代は並んでいて詣でで栄えたようです。熊野神社は、紀州熊野権現の流れで、境内の大銀杏が見事です。戦災で爆撃を受け周りが火の海、その中でも焼け残ったそうです。裏に回り込み空洞になった中は火で焼け真っ黒になっていました。思わず触れてみると、言いようのない感覚を覚えました。神社の前を東海道が走っています。足下のタイルは亀の形で車止めの上にも亀が乗っています。そうです！この地は浦島太郎伝説の村とも言われています。

知らぬうちに回りは松並木になっていました。昔は土の道で松並木の反対側はもう海が広がっていたそうです。左側には大きな高札場がでんと立てられていました。古くなり墨字はかすれて分かりません。村人たちが多く集まったことでしょう。足下のタイルは、青海波(神奈川宿歴史の道のシンボルマーク)の模様になっていました。

まもなく「成仏寺」です。ここはアメリカ人宣教師の宿舎にあてられたそうです。浦島太郎が父母の

死を知り、腰掛けて涙を流した涙石があります。

滝ノ川を上り次は「慶雲寺」です。ここは、フランス領事館にあてられました。「浦島寺」とも言われ、浦島観音や玉手箱がまつられています。「浄瀧寺」は英国の領事館でした。本堂を始めあちこちがペンキで塗られたそうです。

次は神奈川の大井戸、徳川将軍や明治天皇が通る時に使われ、水が増えると翌日は天気が良くなるお天気井戸と言われたそうです。近くに滝野川を挟んで東に神奈川本陣があり西に青木本陣が置かれたかなり大きな宿場町だったようです。

「宗興寺」は、アメリカ人宣教師で医者であったヘボンが診療をおこなっていたところで、多くの人がヘボンによって助けられたので記念碑が建てられています。ヘボン式のローマ字でも知られています。街道の北側には高い山が幕末の絵図に描かれていました。幕末から明治にかけて山が削られてその土が神奈川台場や鉄道用地の埋め立てに使われました。現在は幸ヶ谷公園や幸ヶ谷小学校になり「本覚寺」のある丘も一続きでした。

「州崎大神」は源頼朝が安房神社の神をこの地に招き作ったと言われる神社で、ご神木のアハキがなまり青木町の町名となったと言われています。「甚行寺」は、土蔵づくりの本堂を改造し公使館に当てられました。「本覚寺」は、当時アメリカ領事ドーアは、松の木に星条旗をあげ、寺の正門を白いペンキで塗り、本堂の中を板で囲い一般人の立ち入りを禁止していたそうです。

神奈川宿には、多数の領事館があるため外国人と日本人の間に多数の問題がおこる事は必然でした。そこで幕府は「横浜村」に外国人をあつめて東海道から離しました。その後外国人がいろいろ交易が始まり「横浜村」はどんどん大きくなり発展していったそうです。

身近にこんなに多くの寺院があり、それが日本の夜明けに通じる地域だと思った時、歴史や文化の素晴らしさが感じられた一日となりました。案内を務めてくださった椿さん、ありがとうございました。



慶雲寺



慶雲寺 門前

2025(令和7)年度
第 41 回

退職互助会員作品展

VII.



第41回「退職互助会員作品展」が開催されました。
この1年間、「趣味の会」の皆さんが健康に過ごし、互助会や家庭で楽しく活動された成果です。
また開催期間中、健康診断や英語教室、ダンスなどで利用されている多くの皆さんにご鑑賞を頂きました。
ありがとうございました。

○開催期間

令和7年10月17日(金)～11月5日(水)

○会場 会館とどろき 1階ギャラリー

第Ⅰ期10月17日(金)～22日(水) 【写真・俳句】

第Ⅱ期10月24日(金)～29日(水) 【絵画・生花】

第Ⅲ期10月31日(金)～11月5日(水) 【工芸・編物】

〈作品をご覧いただいた方からの声〉

- どの作品にも、作った人の心、センス、人生の色どりを感じます。
- わたしも老後の楽しみ方、今から考えます。
- さすが学校に勤めていた皆さんですね、素晴らしい作品がたくさんあると感じました。
- 歳を重ねて、時間を好きに使用する趣味があること。楽しく充実した毎日になると思います。これからもお元気で楽しく過ごしてください。

第Ⅰ期 【写真・俳句】の部 10月17日(金)～22日(水)



- 綱に繋がっている柿、見たことなかった。
- 明と暗の世界ですね。
- 「富士見中」って、お相撲強いね。
- 俳句の例会で切磋琢磨を繰り返し、みなさんの技術が磨かれた集大成ですね。感動しました。
- 俳句の後ろの飾りや花が素敵ですね。



第Ⅱ期 【絵画・生け花】の部 10月24日(金)～29日(水) VII.



○わたしも小学生の時に使った水彩絵の具、こんなに素敵に描けるのですね。驚きました。

○美味しそうなぶどうの絵がありました。食べたくてしまいました。

○「彼岸花」多摩川にもたくさん咲いていました。

○きれいなお花がたくさん咲いていました。嬉しくなりました。

○いろいろに工夫された「生け花」を見て、ホッとした気持ちになりました。

○もっとたくさんの作品が見たかったです。

第Ⅲ期 【工芸・編物】の部 10月31日(金)～11月5日(水)



○ネクタイで作ったポシェットは、レトロな感じでとてもかわいいです。

○「切り絵」不思議でした風景は細かいし、歌舞伎みたいなやつはカッコよかったです。

○小さな人形が可愛かったです。焼き物が良かったです。

○「絵手紙」は、習ったことがあります。続けることが難しかったです。身近な植物や台所にあるものを題材にしていました。わたしもう1度チャレンジしたくなりました。

○健康診断の後、見せていただきました。皆さん頑張ってますね。仕事仕事で心が滅入る事が多くありましたが、元気になりました。ありがとう！

○「がん型」で、言うんだね。すごく華やかできれいだね。どうやって作るのかな不思議！

○バスケットの中に犬がいるよ。可愛いね。不思議の国にいるみたいだね。

令和 8 年度 退職互助事業 年間計画 (案)

VIII.

令和7年12月現在の年間計画案です。

今後、変更の可能性もありますので、各号の会員通信でご確認ください。

月	日	曜	時刻	事業等
4	15	水		会員通信 第1号発行
5	14	木	13:00 ～	退職互助会員作品展 企画運営委員会
5		火	9:30 ～	第1回 定例理事会
5				第1回 歴史(文学)散歩
6			15:00 ～	第1回 定時評議員会
6	10	月	13:30 ～	第1回 退職互助事業及び運営に関する懇談会
7	8	水		(会員通信 第2号発行)
8	20	木	18:30 ～	家族芸術鑑賞会(落語・林家たい平 他) エポックなかはら
9		水		総合健康診断(～11/30)
10				第2回 歴史(文学)散歩
10	16	金		第42回互助会員作品展(Ⅰ期 Ⅱ期 Ⅲ期 ～11/05)
11				第3回 歴史(文学)散歩
12	7	月	15:00 ～	歴史(文学)散歩 企画会議
1	13	水		(会員通信 第3号発行)
2			9:30 ～	第2回 定例理事会
3	1	月	14:00 ～	第2回 退職互助事業及び運営に関する懇談会

☆ 令和 8 年度の「歴史(文学)散歩」も おもしろい！！

○ 5 月「(仮)江戸を歩く」 對馬先生

都営地下鉄新宿線・東西線・半蔵門線「九段下」から、北の丸公園、科学博物館などを通り、江戸城の天守台跡、本丸跡、松の廊下跡、百人番所などを巡ります。江戸の様子を對馬先生が詳しくお話くださいます。

○10 月「(仮)大名庭園・徳川の女たちの寺と」 東原先生

NHK朝ドラ「らんまん」の舞台「小石川植物園」を訪ねます。

東京メトロ丸の内線後樂園駅から「小石川後樂園」で、水戸徳川家上屋敷回遊式築山水庭園を観ます。源覚寺(こんにやくえんま)では、眼病治療の信仰。歯痛緩和の塩地藏も安置されています。伝通院、そして「小石川植物園」日本最古の植物園を観ます。

○11 月「(仮)武州金沢歴史の道を歩き街の歴史と金沢北条氏の信仰と文化の薫りに触れる」

横山先生

徳川家康は、源頼朝を尊敬し、その政治手腕を高く評価していたと言われています。京浜急行「金沢文庫」から、武州金沢歴史の道を歩き、頼朝、家康、金沢北条氏に係わる歴史遺産を訪ねます。

※どの会も半日の予定で開催するよう計画します。

☆ 会員通信は郵送でもお届けできます ☆ IX.

☆ 下記の申込用紙をご利用いただき、はがきまたは封書にてお申し込みください。

☆ ご夫婦会員は、1部のみの送付とさせていただきます。

「 会 員 通 信 」

郵送による配付を希望します

フリガナ	
氏 名	
ご 住 所	〒
電話番号 (確実に連絡 できる番号)	

〒211-0051

川崎市中原区宮内4-1-2

会館とどろき内

(一財)川崎市立学校教職員互助会

退職互助事業室 御中

郵送希望の方は、ご遠慮
なく申し込んでください。



日常的にパソコンやスマホを活用していない方は、「歴史(文学)散歩」や「家族観劇会」「家族芸術鑑賞会(落語)」などを申し込む時に、今まで通りの環境でご覧いただけます。

また、申し込みをする際、直接申込用紙を切り取り、使用することが出来るので便利です。

ご遠慮なく郵送希望のお申し込みをしてください。

すでに申し込まれた方は、再度申し込む必要はありません。